

3-3 日下部 望

『 世界を知ろう（インドネシアの紹介を通して） 』

学校名・名前 : 西宮市立甲陽園小学校 ・ 日下部 望

実践教科 : 総合的な学習の時間、道徳

指導時数 : 16時間

対象学年 : 小学5年生 対象人数 : 133名(4クラス)

1. カリキュラム

(1)実践の目的

- ・ 世界の国々(インドネシア)を知る
- ・ 世界の国々の文化や食べ物を知る
- ・ 世界の国々に興味を持つ
- ・ 自分が世界について知りたいこと、調べたいことを見つける

(2)授業の構成

| 時限・テーマ・ねらい | 方法・内容 | 使用教材、写真・モノ |
|---|--|--|
| 1～5時限目 世界の国々を知る 世界の中の日本を知る インドネシアを知る | <ul style="list-style-type: none"> ・世界の国々を知る ・インドネシアの紹介 ・インドネシアの遊びを体験する ・インドネシアの文化を知る ・バングラデシュを知る ・世界の国々を知る ・帰国子女による各国の紹介 | 世界地図、国旗 パソコン(パワーポイント) 遊び道具 写真、ビデオ(生活・子ども達の様子) 料理のレシピ ワークシート |
| 6・7時限目 自分の調べたい国をさがす | <ul style="list-style-type: none"> ・地図帳や写真から自分の調べたい国を決める ・自分達の調べたい視点について考えを絞る | 世界地図 地図帳 写真 資料集 |
| 8～13時限目 世界の国々調べ | <ul style="list-style-type: none"> ・自分達の視点で世界の国々を調べる(環境保護・遊び・食事など) | 地図帳 資料集 ワークシート パソコン(インターネット) |
| 14～15時限目 世界の国々紹介ワークショップ | <ul style="list-style-type: none"> ・各自自分達の調べた国々についてワークショップ形式で紹介する ・ワークショップで紹介されている国々の文化に触れる。 ・それぞれの国についての情報を交流する | 模造紙 写真 食材 遊び道具 |
| 16時限目 世界の国々についてのまとめ | <ul style="list-style-type: none"> ・この単元で学習してきたことのまとめ ・次の学習への展望 | ワークシート 世界地図 地図帳 |

1時限目 「本時の展開」

| 学習活動 | 指導上の留意点 |
|--|--|
| <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 0 auto; width: 80%;"> <h2 style="margin: 0;">知っている国の名前を出してみよう！</h2> </div> | |
| <p>1. 自分が聞いたり見た事がある国の名前を発表する。</p> <p>①アメリカ ②中国 ③韓国 ④インドネシア</p> <p>2. 世界には多くの国々があることを知る。</p> <p>①アジア ②ヨーロッパ ③アフリカ などの地域を知る</p> <p>3. 出てきた国について知っている事を発表する。</p> <p>①大リーグ ②中華料理 ③ヨン様 ④熱い</p> <p>4. 各国について出てきた事をその内容から分類していく。</p> <p>①文化的 ②社会的 ③食べ物関係 ④日本との関係等</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 間違っても良いので出来るだけ沢山出させるようにする。 ・ 世界地図を掲示し、発表で出てきた国の位置を簡単におさえる。その際、大陸や地域などについても説明を加える。 ・ 知っている事の理由も発表できるようにする。また、著しく間違っている場合には助言をする。 ・ 分類方法についてもできるだけ子ども達の意見を尊重するようにする。(日本との関係)など子ども達の中から出てこないような内容については助言をする。 |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 0 auto; width: 80%;"> <h2 style="margin: 0;">※世界の国々を自分達で調べ、ワークショップを開き、それらを紹介することを知らせる。</h2> </div> | |
| <p>5. 自分が調べたい国や食べ物、文化を探す。</p> <p>6. 調べたい内容が同じ者同士グループになり、今後の調べ学習の方法や発表方法について話し合う。</p> <p>7. 自分達のグループが何について調べていき発表するのかを、皆の前で全グループ紹介する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 先ほど分類したジャンルの中から調べたい内容を選ぶようにする。 ・ 調べる内容があまり多岐にわたると発表が困難になるので、似た内容のところは統合しても良いように伝える。調べる内容は今後変わっていても構わないことを伝える。 |

2時限目 「好きな国・嫌いな国のランキングを出してみよう」

世界の国々を知ろう！！

5年 組 名前()

知っている国の名前をできるだけ書こう！！

| |
|--|
| |
|--|

合計()ヶ国

好きな国ベスト5

| 国 | 理由 |
|---|----|
| ① | |
| ② | |
| ③ | |
| ④ | |
| ⑤ | |

きらいな国ワースト5

| 国 | 理由 |
|---|----|
| ① | |
| ② | |
| ③ | |
| ④ | |
| ⑤ | |

以上のようなアンケートを行った結果

好きな国ランキング

| | |
|-----|---------|
| 1位 | アメリカ |
| 2位 | 日本 |
| 3位 | フランス |
| 4位 | イギリス |
| 5位 | イタリア |
| 6位 | オーストラリア |
| 7位 | ブラジル |
| 8位 | スイス |
| 9位 | インドネシア |
| 10位 | エジプト |

きらいな国ランキング

| | |
|-----|---------|
| 1位 | 北朝鮮 |
| 2位 | 中国 |
| 3位 | イラク |
| 4位 | ミャンマー |
| 5位 | 日本 |
| 6位 | ロシア |
| 7位 | アメリカ |
| 8位 | エジプト |
| 9位 | 韓国 |
| 10位 | アフガニスタン |

～所感～

このような結果になった。TV や雑誌などでよく見聞きしている欧米諸国の名前が好きな国のランキングには多く出てきた。嫌いな国ランキングでもニュースなどでよく取り上げられている国々の名前が上がった。好きな国の理由が多かったのは(TV で良く見るから・きれいそうな国だから・遺跡があるから・サッカーが強いから・ペンフレンドがいるから)などであった。嫌いな国の理由は(拉致されたから・戦争をしているから・日本人がうたれたから・きれいじゃなさそうだから)などの理由があがった。やはり TV やインターネットなどの情報に大きく影響をうけている回答だった。

3時限目 「道徳・人権学習で大切なものについて考える」

～本時のねらい～

大切なものが、人によってちがうことを、生活環境や文化も日本とは全く違うバングラデシュの子供たちの考えを紹介しながら話し合うことで理解する。また、それぞれのちがいを受け入れ認め合おうとする気持ちを育てる。

| 学習活動 | 指導上の留意点 |
|-------------------------------|---|
| 1. みんなにとって大切なものはなにか考える。 | ・ 命、友だち、家族、お金、ゲーム、服、野球、サッカーなど自由に発表させる。 |
| 2. 「大切なもののちがい」の詩を読む。 | ・ バングラデシュの国について説明する。(飢餓に苦しんでいる。多くの子どもが病気で死んでいる。学校に通えない子どもが多い。…) |
| 3. ワークシートに、自分が選んだ記号とその理由を書く。 | ・ 自分にとって何が大切かを十分考えて記入させる。 |
| 4. グループ内で意見の交流をする。 | ・ 自由に意見交流ができるように、声かけをして回る。 |
| 5. 自分の意見を発表する。 | ・ グループ内で、共感できるものがあればあわせて発表させる |
| 6. 「作者が伝えたかったこと」について自分の思いを書く。 | ・ 発表を聞く中で共感できたことや意見の違いに目を向けさせる |

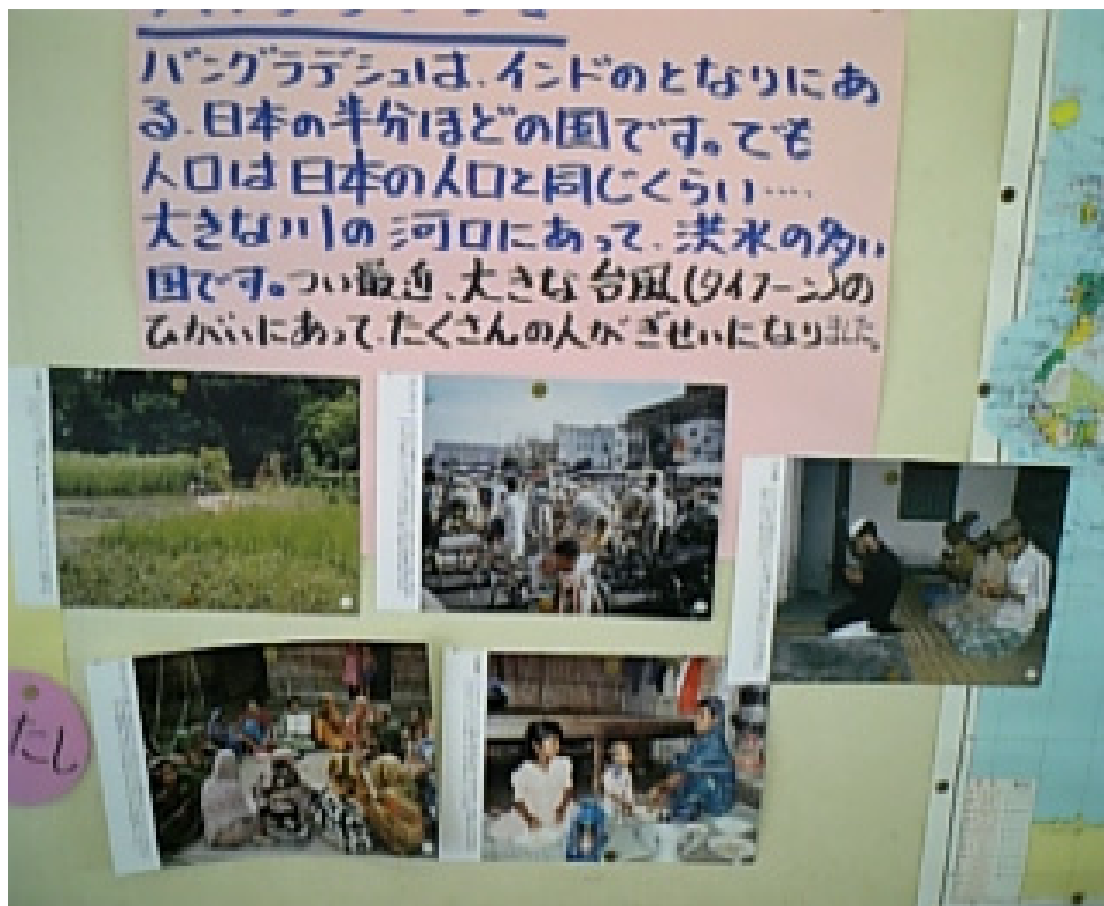
～所感～

このような授業を通し、バングラデシュの国の状況(実際の GNP、購買力、就学率、若年での死亡率、平均寿命)を紹介した。その際に日本やインドネシアなど他の国々の状況についても加えて紹介した。

大切なもののちがい

| | | |
|---|---|---|
| <p>人によって何を大切に 思うかはちがう。</p> <p>たとえば、</p> | <p>ア、食べ物 イ、お金 ウ、友だち エ、親 オ、病院 カ、学校 キ、洋服 ク、家 ケ、話せる場 コ、自由な時間</p> | <p>この中から三つだけ 大切なものをえらばなければならないとしたら 君ならどれをえらぶ？</p> <p>1 番 () 2 番 () 3 番 ()</p> <p>君がえらんだ大切なものと、 友だちがえらんだ大切なものは同じかな？ 君がえらんだものと、世界のいろんな子どもがえ らんだものはどうだろう？</p> <p>バングラデシュのある学校の教室では 子どもたちみんなが 三つの中に 「親」と「学校」と「病院」 を入れていたよ。</p> |
|---|---|---|

バングラデシュの紹介



インドネシアについて知ろう！！

5 年 組 名前()

インドネシアと聞いて思いうかぶことをできるだけ書こう

☆まちがっていてもいいのでなんでも書いて

インドネシアについて知りたいことを書こう

☆なんでもいいよ

インドネシア研修の紹介授業をする前に、以上のようなアンケートを行った。

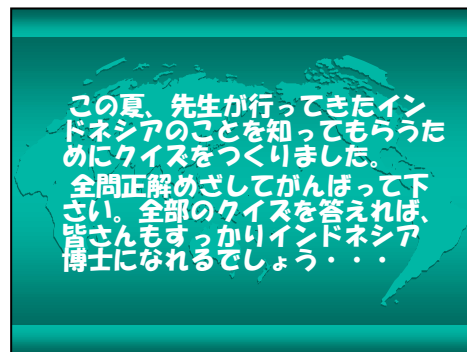
その結果

| 思いうかぶこと | 知りたいこと |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・貧しそう ・地震 ・手でたべている ・治安がわるい ・山がない ・銃がある ・ラフレシア ・コモドドラゴン ・ふるい服 ・暑そう ・料理 | <ul style="list-style-type: none"> ・さばく ・ゆうれい ・歴史がある ・食べ物が少ない ・ゾウ ・インドの近く ・緑が多い ・学校に行っていない ・頭にものをのせている ・きれいな海…… |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ ・面積 ・文化 ・産業 ・暮らし ・店 ・建物 ・伝統 ・日本との関係 ・言葉 ・農業 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・特産品 ・人口 ・歴史 ・学校 ・食べ物 ・魚 ・動物 ・服 ・宗教 ・輸出入 ・工業…… |

などなど様々なイメージが思いうかび、色々なことを知りたいと思っていた。

その中でパワーポイントを使い、次のようなインドネシアの紹介授業を行った。

【授業で使用したパワーポイント】



インドネシアの面積は日本よりも
せまい？ ○ か ×

正解は ×

インドネシアは約1万7500の島々からなる大きな国
です。面積は190万5000平方KMもあり、日本の約
5倍の大きさがあります。
(ちなみに日本は約37万平方KM)
インドネシアは世界15位、日本は60位です。
(ちなみに1位はロシア2位はカナダ)

インドネシアの人口は日本よりも
多い？ ○ か ×

正解は ○

インドネシアには約2億4000万人の人々住んでい
ます。ジャワ族やスンダ族といった様々な民族で構成
されています。
(ちなみに日本は約1億2700万人)
インドネシアは世界5位、日本は10位です。
(ちなみに1位は中国 2位はインド)

インドネシアは日本より南にある？

○ か ×

正解は ○

インドネシアは国の真ん中に赤道が通っておりとても
暑い地域です。
熱帯雨林気候と熱帯モンスーン気候におおわれ、年
間を通じて季節の変化はありません。ただし半年ごと
に雨季(11~3月)と乾季(6~10月)を繰り返します。
年間の平均気温は内陸部で摂氏25度程度です。

インドネシアってどんな国？

みんなのイメージでは...

| | |
|----------|-------------|
| ・貧しそう | ・さぼく |
| ・地震 | ・ゆづれい |
| ・手でたべている | ・歴史がある |
| ・治安がわるい | ・食べ物がない |
| ・山がない | ・ソウ |
| ・銭がある | ・インドの近く |
| ・ラフレシア | ・緑が多い |
| ・コモドドラゴン | ・学校に行っていない |
| ・島 | ・頭にものをせている |
| ・暑そう | ・ふるい服 |
| ・料理 | ・きれいな海..... |

などなどいろいろなイメージが出てきました。

スラムシアン

日本語で どういう意味でしょう？

1. こんにちは
2. ありがとう
3. ごめんなさい

正解は！！
1

スラムシアンのスラムツはあいさつの意味で、シアンは午後の意味
です。だから午後のあいさつで、こんにちは=スラムシアンになり
ます。ちなみに朝の意味はバギなので、おはようございますは？

そうです！！スラムツバギになります。

ちなみに

ありがとう=テリマカシー
どういたしまして=サマサマ
小学校=SD(エスデー)
先生=グル

です。

どちらがインドネシアの写真かな？



正解は
両方

先生が行ってきたのはインドネシアの首都のジャカルタと地方都市
ジョグジャカルタというところですよ。

ジャカルタは大阪よりも大きい大都会で高いビルもとてもたくさんありデ
パートもありました。人口もとても多く町中で渋滞がおきていました。

車も多いのですがとにかくバイクが多くびっしりしました。

町はとても発展して大きくなっていましたが、地下鉄や電車などの交通
機関が発達しておらずバスや車、バイクでの通勤になるそうです。

ジョグジャカルタは地方都市なのでビルもそれほどなく田んぼが多く見
られました。ジョグジャカルタは大学と歴史のまちで日本の京都のような
雰囲気のみちでした。

インドネシアのお金の単位はルピーである？

○ か ×

正解は

×

インドネシアのお金の単位はルピアです。ルピーはインドのお金の単位です。国の名前も似ているし、お金の単位も似ていますね。1000ルピアが日本円で約13円です。だからインドネシアではたくさんのお金をもたなくてはなりません。また、大金になるので少しお金持ちになった気分になりました……

インドネシアのお金



2万ルピア(日本円約250円)



10万ルピア(日本円約1250円)



1万ルピア(日本円約125円)



5万ルピア(日本円約624円)

インドネシアの物価

- コーヒー1杯 1000～2000ルピア
日本円で14～27円
 - 昼ごはん1回 3000～5000ルピア
日本円で40～70円
 - バイク(新品) 1500万ルピア
日本円で約20万円
 - 携帯電話(新品) 80万ルピア
日本円で約1万円
- インドネシアの安い物価と日本のように高い物価がまじっています。

インドネシアの学校に教室や黒板はない

○ か ×

正解は

×

インドネシアの学校にも教室や黒板がちゃんとあります。都会のジャカルタの学校もそうですが、地方都市のジョグジャカルタの学校にも教室や黒板があります。しかし、運動場がとてせまく全校生は集まれません、また体育館はありません。そのかわり日本の学校と違ってお祈りの部屋があります。

インドネシアの学校に教科書はない

○ か ×

正解は

×

インドネシアの学校にも教科書がちゃんとあります。しかし教科書は自分で買う必要があります、皆さんはもらえませんが大切にしましょう。教科は日本とほぼ同じです、しかし自分の国のことを学ぶ道徳に似た教科が特別にあります。また、基本的に午前中に学校は終わり、午後は帰ります。地方に行くとき午前と午後で児童を入れ替える学校もあるようです。

どうでしたか？すっかりインドネシア博士になれたのでしょうか。もっとももっといろいろなことを紹介したいのですが時間がないので全部はできませんでした。疑問に思ったことやもっと知りたいことがあれば質問してみたり自分で調べてみてください。また、写真だけの紹介もします、楽しみにしていて下さい。

～所感～

以上のような内容のパワーポイント(一部抜粋)でインドネシアの紹介授業を行った。また、授業の際にはインドネシアの国の地図、国旗、教科書、マンガ(ドラえもん)、お金(1,000ルピア紙幣、100ルピア硬貨)を実際に手に触れ中身を確認した。それから、給食の時間にはサンバルソース(インドネシアの辛いソース)やインドネシアのしょうゆを料理にかけたり、ソースをなめたりしてインドネシアの食文化についても少し紹介した。

【授業の様子】



日本のお金でいくらかな？



どんな味のソースだろう！！



日本の教科書よりむずかしそう…

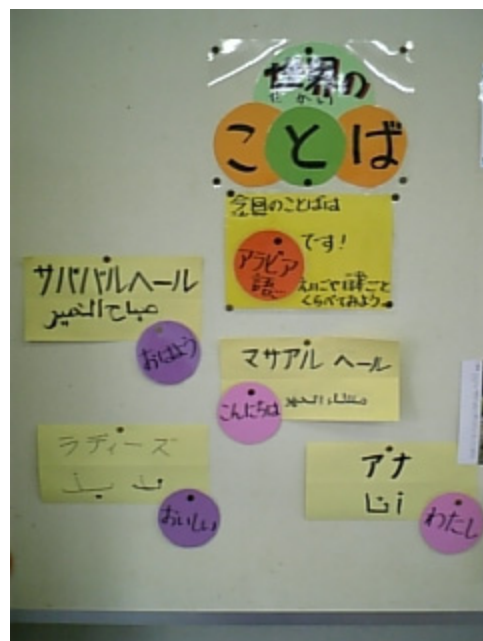
【このような授業を行った後の子どもたちの感想】

- ・インドネシアは以外と貧しくなかった
- ・あんなに都会だとは思わなかった
- ・人口が多くてびっくりした
- ・午前中で学校が終わるのがうらやましい
- ・稲刈りと田植えが同時期というのがすごい
- ・ぜひ一度行ってみたいくなりました
- ・教科書が難しそうだ
- ・いろいろな子ども達がいる
- ・トイレやお風呂の話におどろいた
- ・ソースがからかった
- ・物価がやすくてうらやましい
- ・面積が広くてびっくりした
- ・1000ルピア=13円というのがすごい
- ・カエルの料理がびっくりした
- ・日本とちがうところがいっぱいあった
- ・とても暑そうだ
- ・もっと知りたくなった
- ・他の国のことも知りたくなりました

～所感～

上記のように様々な感想があった。最初のアンケートとはかなり違う実際のインドネシアの様子を少しでも感じ取ってくれたようだった。インドネシアの文化などを知る、インドネシアなど世界の国々の文化に興味を持つといった授業のねらいに概ねそった反応であった。写真や小物といった教材があったおかげで子ども達もすんなり入り込めたようである。また、クイズ形式にしたことにより退屈せず最後まで画面に集中している子どもが多かった。もう1つ写真だけで紹介のパワーポイントも作成したが、そちらのほうは途中から飽きてきてしまう子どもの姿が見られた。今後、この授業をきっかけに2月の発表授業参観に向け子ども達は自分の調べたい国を探し、インターネットや本などを使い調べ始めている。その中にインドネシアの事を調べたいと言っている子どもたちがいることはとてもうれしかった。今後も発表授業参観だけではなく、日常から世界の国々に興味をもって生活していくよう指導していきたい。

国際教育の展示コーナー



3-4 柴田 貴也

『 神河町からインドネシアにズームイン！ 』

学校名・名前 : 神河町立粟賀小学校 ・ 柴田 貴也
実践教科 : 総合的な学習の時間、図工、道徳
指導時数 : 7時間
対象学年 : 小学3年生及び全校生 **対象人数** : 350人

1. カリキュラム

(1) 実践の目的

インドネシアの人々の生活や文化(遊びや食物・服装など)を知ることから、インドネシアって一体どんな国なのか? 興味・関心を持たせていきたい。また、国や生活の様子は違って、一生懸命に夢や希望を持って頑張っているインドネシアの人々や子どもたちの様子にも目を向けさせていきたい。そして、JICA 兵庫の青年研修事業により、11月中旬に神河町を訪問される初等中等教育グループのインドネシア研修員の方々と交流を通して、インドネシアの文化にふれ、お互いを認め合っていくことの大切さを児童に考えさせたい。

(2) 授業の構成

| 時限・テーマ・ねらい | 方法・内容 | 使用教材・写真 |
|--|--|---|
| 1時限目 (児童集会) インドネシアを知ろう | <ul style="list-style-type: none"> ・インドネシアってどんな国? ・インドネシアで撮影した写真を見る。 ・感想を発表する。 | 世界地図 国旗 写真、楽器 民族衣装、教科書、 文房具、お菓子など |
| 2時限目 (総合) インドネシアの子どもたち | <ul style="list-style-type: none"> ・学校の様子を知る。 ・子どもたちの夢は? ・好きな遊びは? ・感想を発表する。 | 写真 ビデオ |
| 3時限目 (道徳) ボランティアって どんなことをするの? | <ul style="list-style-type: none"> ・青年海外協力隊やシニア海外ボランティアで、頑張っておられる方々のお話を聞く。 ・自分たちにできることはないか考える。 | 写真 ビデオ |
| 4時限目 (図工) 交流プログラム① 絵手紙で、自分の大好きな 言葉を相手に伝えよう | <ul style="list-style-type: none"> ・図工の時間、インドネシア研修員の方々にも一緒に参加してもらい、自分の大好きな言葉を相手に伝えることをめあてに絵手紙を描く。 | 絵の具 筆ペン 紙皿 題材(野菜、果物) |
| 5時限目 交流プログラム② インドネシアの方々と一緒に 遊ぼう | <ul style="list-style-type: none"> ・折り紙や鬼ごっこ、キックベースなどの遊びを通じてインドネシア研修員の方々と触れあう。 | 折り紙 |

| | | |
|--|--|------|
| 6時限目(総合) 交流プログラム③ インドネシアの伝統文化にふれよう | ・校内学習発表会にインドネシア研修員の方にも特別ゲストとして参加してもらい、インドネシアの伝統舞踊や歌を教えてください。 | |
| 7時限目(総合) インドネシアの方々とふれあって感じたことを書こう | ・インドネシア研修員の方々とふれあって感じたことを作文に書く。 | 原稿用紙 |

2. 授業の詳細

1時限目 「インドネシアを知ろう」

10月5日の児童集会において、「インドネシア物語」というテーマで全校生にインドネシアの紹介をした。自分自身が教師海外研修で、インドネシアという国の様子や習慣、文化について学んできたことを写真や実物を見せながら行った。

①インドネシアの国の様子

Google Earthを使って、日本からインドネシアに目を向けさせ、国の面積や人口、気候など地理的な特徴を話した。

国の名前: インドネシア共和国

首都: ジャカルタ

面積: 190万5000km²

人口: 2億1500万人

言語: インドネシア語

宗教: イスラム教(90%)

気候: 高温多湿の熱帯性気候で半年ごとに雨季と乾季がある。

年間平均気温は25℃くらい。

日本との時差: -2時間



②簡単なあいさつと自己紹介

ほんの少しでも、インドネシアの言葉を覚えてもらえたらいいなという思いから、あいさつのおはよう、こんにちは、こんばんは、自己紹介の仕方、ありがとうの表現を紹介し、全員で練習した。すると、クラスの子どもたちは、次の日から朝学校に登校するなり、スラムツ パギ(おはよう)と言いながら教室に入ってくるようになった。子どもたちの興味関心の高さに驚かされた。

すぐに使える
インドネシア語こうざ

<あいさつ>
おはよう→スラムツ パギ
こんにちは→スラムツ シアン
こんにちは→スラムツ ソル
こんばんは→スラムツ マラム

<じこしょうかい>
わたしの名前は、〇〇です。
ナマ サヤ 〇〇
<ありがとう>
テレマカシ

③インドネシアのお金

インドネシアの紙幣である10万ルピアや5万ルピアを見せると、日本では見たことがない0の数の多さに子どもたちは、すごく驚いていた。10万ルピアというのが、日本円で約1300円位になることを説明し、いろんな品物の値段から日本よりも物価が安いことにも少し触れた。



④スーパーマーケット

スーパーマーケットには、日本でも売られているような品物がインドネシアでもたくさん売られていることに気づき、コーラやみかん、卵やヤクルトなどを写真の中から見つけ出していた。また、値段の安さにも驚いていた。



⑤生き物の宝庫インドネシア

インドネシアは、生き物の楽園であり、何万種類にも及ぶ昆虫が生息している。カブトムシやチョウの写真を見せると、子どもたちは大変興味を持って見ていた。



⑥ボロブドゥール遺跡

わたしたちの住む兵庫県では、姫路城が世界遺産になっているように、インドネシアでは、ボロブドゥール遺跡が世界遺産になっていることを説明した。



⑦その他

インドネシアの国旗や楽器、民族衣装、教科書、文房具、お菓子などについても実物や写真を提示しながら、話をしていた。普段、テレビやニュース、新聞などの中で、インドネシアという国の名前は聞いたことがあっても、なかなかどんな国なのかイメージすることは難しい。しかし、自分自身の体験談から、インドネシアという国がどんな国なのかを少しは子どもたちに伝えることができたのではないかと考える。

2時限目 「インドネシアの子どもたち」

インドネシアの子どもたちが、学校でどんなことを勉強しているのか、家でどんな生活を送っているのか、どんな遊びをしているのかななどを自分たちの毎日の様子と比べながら話し合いをした。

【子どもたちの気づき】

- ・インドネシアでは、学校の始まる時刻が早く、7時から始まり、1、2年生は、10時頃に終わる。また、3年生以上は、12時頃に終わる。
- ・家に帰ると、自分たちは、友達と遊んだり、ゲームをしたり、習い事に行ったりしていることが多いが、インドネシアの子どもたちは、家の手伝いをたくさんしている。
- ・毎日、朝5時には起きて、イスラム教のお祈りをしている。
- ・学校でたくさんの教科を勉強している。国語と英語以外にジャワ語も習っている。
- ・学校で友達と楽しそうに遊んだり、勉強したりしている。
- ・いろいろな夢を持ってがんばっている。



ゲシアン村の小学校



ゲシアン村でのホームヴィジット

～所感～

インドネシアの子どもたちの学校や家での様子を知ることから、自分たちと同じところや違うところをたくさん見つけることができた。日本と文化の違いはあっても、インドネシアでも自分たちと同じように勉強したり、友達と遊んだりしながら、一生懸命がんばっているんだなということを子どもたちも感じ、自分たちも負けずにがんばらないといけないなという強い気持ちを持つことができた。

3時限目 「ボランティアってどんなことをするの？」

インドネシアで起こったジャワ島中部地震では、たくさんの方が地震や津波の被害に遭われた。その方々を助けるために青年海外協力隊としてインドネシアに行き、現地でボランティアとしてがんばっておられる方々がいるという話をした。地震や津波の被害に遭われた方々にとっては心の支えであり、なくてはならない存在になっていることを伝え、どんなことをされているか仕事の内容についても簡単に説明した。その後、自分たちにも何かできることはないかを考えさせると、ユニセフ募金、赤い羽根共同募金、ベルマーク、使用済み切手を集めるなど、学校でこれまでしてきたような活動が子どもたちから出てきた。



青年海外協力隊の方々



4時限目 「交流プログラム①絵手紙で、自分の大好きな言葉を相手に伝えよう」

JICA 兵庫の青年研修事業により、11月8日から20日まで、初等中等教育グループのインドネシア研修員18名＋通訳2名の方々が神河町を訪問され、11月13日、14日の2日間は、粟賀小学校にも来

校された。1・2年生のクラスへ各1名、3～6年生のクラスへ各2名の研修員の方々に来ていただいた。小学校の教育システムや自然学校、PTAと学校の関わりなどについて研修された後、それぞれのクラスで授業に参加された。休み時間になると、一緒に遊んだり、インドネシアのことをいろいろと教えてもらったりしながら楽しい交流ができた。

私のクラスには、英語教師のアンディさんと美術教師のヤユさんが来て下さり、交流プログラム①では、図工の時間に絵手紙を描くことにした。絵手紙を選んだ理由として、習字、絵、手紙の三つの要素が含まれており、筆や墨を使って字をかくことによって、かく人の気持ちを敏感に感じ取って表現することができ、また、絵手紙を通して、お互いの気持ちを伝えあうことができるのではないかと考えたからである。

絵手紙とは： 絵のある手紙という意味で、自分が感じたことを感じたままに自由にかけばよい。

めあて： 絵手紙で、自分の大好きな言葉を相手に伝えよう！

授業の流れ(日本絵手紙協会の絵手紙レッスン参照)

①実物をよく見て大きくゆっくりと墨でりんかく線进行かく。



②リズムカルに手早く、絵の具で色をつける。



③相手に話しかけるような軽い言葉を入れる。



④できた絵手紙を紹介する。



⑤アンディさんとヤユさんにインドネシア語で自分の名前を自己紹介してから絵手紙をプレゼントする。

ナマ サヤ ○○

プレゼント フォー ユー

～所感～

一人一人が、思い思いの大好きな言葉を絵手紙に書くことができた。早くできた子どもたちは、アンディさんとヤユさんに自分の作品を見せに行ったり、自己紹介をしたりと有意義な交流ができた。事前に自己紹介の練習はしていたので、インドネシア語で自分の名前を言って通じたときには、とてもうれしそうだった。また、アンディさんとヤユさんも上手に絵手紙を描かれていた。



5時限目 「交流プログラム②インドネシアの方々と一緒に遊ぼう」

業間休みや昼休みを利用して、折り紙や鬼ごっこ、なわとび、キックベースやサッカーなどのいろいろな遊びを通してインドネシアの方々とふれ合った。子どもたちの適応力は、すごくて、業間休み、4時間目、給食と一緒にインドネシアの方々と過ごす中で、自然と相手を受け入れることができるようになっていた。昼休みになると、自分たちから積極的に遊びに誘っている姿が見られた。

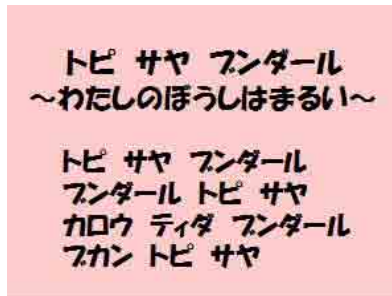


【子どもたちの感想(一部抜粋)】

- ・インドネシアの人といっぱい遊んだ。3年1組には、アンディさんとヤユさんが来てくれた。僕は、みんなでキックベースをして遊んだ。アンディさんは、ボールをけるのがとても上手だった。インドネシアの男の人は、サッカーが上手で、ボールをすごく遠くまでとばしていた。(Iさん)
- ・ぼくは、アンディさんと一緒にしたキックベースとてんつきがとても楽しかった。(Aさん)
- ・昼休みにアンディさんとキックベースをした。アンディさんは、ピッチャーで、僕がボールを転がす動作をするとOKって言って分かってくれた。(Oさん)

6時限目「交流プログラム③インドネシアの伝統文化にふれよう」

11月14日の校内学習発表会では、一学期、二学期を通してこれまで学習してきたことを各学年ごとに歌や劇などいろいろな形にまとめ発表した。インドネシア研修員の方々も一緒に子どもたちの発表を見学された。そして、校内学習発表会の最後に特別ゲストとしてインドネシアの民族衣装を身にまとい、インドネシアに伝わる伝統舞踊やトピ サヤ ブンダール(わたしのぼうしはまるい)という歌を教えていただいた。子どもたちは、初めて見るインドネシアのきれいな民族衣装や伝統舞踊、歌にとっても感動していた。異国の文化にふれる貴重な体験ができた。



7時限目「インドネシアの方々とはふれあって感じたことを書こう」

JICA 兵庫の青年研修事業により、インドネシア研修員の方々とはふれあうことができた貴重な体験から子どもたちが感じたことや学んだことなどを一人一人が作文に書き、クラスの友達に発表した。

【子どもたちの感想(一部抜粋)】

- ・インドネシアの方々から言葉や住んでいる所などいろいろなことを教えてもらった。学習発表会の時の民族衣装は、すばらしかった。インドネシアに帰っても私たちのことを忘れないでほしい。また、インドネシアの子どもたちにも私たちのことを伝えてほしい。(Aさん)
- ・今日、インドネシアの人に初めて出会い、握手をしてもらった。一緒に写真を撮ったり、遊んだりして楽しかった。私の連絡帳にサインをしてもらって、とてもうれしかった。(Uさん)
- ・4時間目の図工の時間にアンディさんとヤユさんに絵手紙を描いた。テーマは、私の大好きな言葉で、アンディさんとヤユさんも一緒に描いた。二人とも絵がとても上手だった。(Kさん)

- ・校内学習発表会の後、インドネシアの先生全員が舞台の上に立って、民族衣装のことを教えてくれた。
また、素晴らしい歌や踊りも見せてもらって心が温かくなった。インドネシアの先生と過ごした二日間は、本当にいい思い出になった。(Kさん)

3. 成果と課題

教師海外研修のインドネシア訪問で、自分自身が学んできたことを少しではあるが、子どもたちに伝えることができたように思う。11月には、JICA 兵庫の青年研修事業により、インドネシア研修員の方々とふれ合うことができ、貴重な体験をすることができた。「百聞は一見に如かず」という言葉があるように、体験談を聞くことだけで終わってしまうのではなく、子どもたちは、インドネシアの方々と一緒に勉強したり、遊んだり、インドネシアの文化にふれたりする中で、相手を受け入れ、異文化を理解していくことの大切さを一人一人が学んだように思う。

今後は、せっかく芽生えてきた異文化への興味・関心をこれからの学習にどのように生かしていくのか、また、つなげていくのかということが重要な課題になってくるように思う。

『 インドネシアのことをもっと知ろう 』

学校名・名前： 芦屋市立朝日ヶ丘小学校 ・ 濱田 理

実践教科： 総合的な学習の時間、音楽、家庭科

指導時数： 11時間

対象学年： 小学6年生 対象人数： 74人(1組37名:2組37名)

1. カリキュラム

(1) 実践の目的

- インドネシアの文化に触れ、他国の文化を受け入れる
- インドネシアと日本を比べることで自分たちの生活・思いを振り返る

(2) 授業の構成

| 時限・テーマ・ねらい | 方法・内容 | 使用教材、収集写真・モノ |
|----------------------------|---|---|
| 1時限目 インドネシアってどんな国 | ・子ども達のイメージするインドネシアを出させる ・写真を使って、インドネシアの紹介 ・お土産を使ってハラルマークを探そう。 ・子ども達の興味のある物は？ | インドネシアの地図 写真(ジャカルタの町並みなど) お土産(スナック菓子・ボールペンなど) |
| 2～6時限目 インドネシアと日本を比較しよう | ・自分の興味のあることを日本と比較しながら調べ、新聞にまとめていく。 | インターネット インドネシアに関する本など |
| 7～11時限目 インドネシアの文化を体験しよう | ・子ども達の興味ある物の体験 (楽器演奏:アングルン 食べ物:ナシゴレン・ミーバソ) | クラスの親(ゲストティーチャー) 食材(レシピ)・楽器 |
| 12時限目 日本とインドネシアをつなぐもの | ・青年海外協力隊について ・わたしたちが出来ることを考える | ゲストティーチャー ワークシート 写真(ODA) |

2. 授業の構成

授業の前に

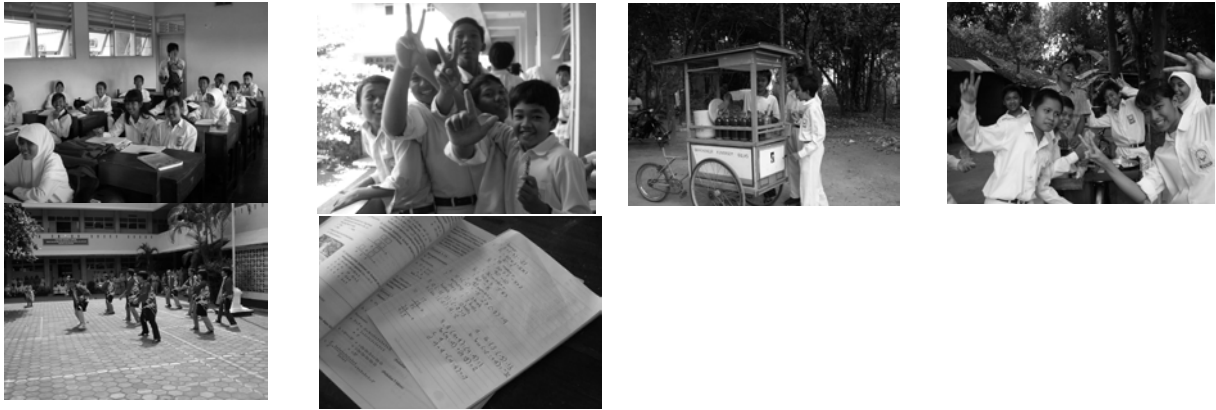
本校の6年生に、お父さんの会社の関係で日本に来ているインドネシアの女の子がいる。彼女が5年生のときに編入してきたのだが、たった1年半ほどで日本語にほとんど不自由しない状況である。子どもたちも、彼女がいることが普通に感じており、こちらも国語の読解のテスト以外は、まったく言葉に関して気になっていない。1学期は、読書などが好きで、よく本を読んでいたが、2学期の後半になると、友だちとどんどんおしゃべりを楽しんで活発に過ごしている。そんなクラスの仲間の国がどんな国なのか、どんな共通点や違いがあるのか。興味や体験を通して深めてほしいと思い、授業を進めることにした。

1時限目 「インドネシアってどんな国」

9月に入り、インドネシアに行ってきた報告を行った。出来るだけ、日本の様子と比較できるように写真を使って行った。その内容は以下の通り

・インドネシアの子どもたちの様子(中学校)

子どもたちの趣味・授業の様子・休み時間のおやつ(ジャムー)・ソーラン節の披露など



・ボルブドゥール遺跡(世界遺産)



・町の様子

ポスト・ゴミ箱・市場・ガソリンの露店販売・携帯電話・駄菓子屋・コンビニ・バイク



・食べ物

屋台のミーバソ・果物など



～所感～

子どもたちの様子については、休み時間に校門前におやつを買いに行けることに反応が集中した。また、趣味がゲームなど日本の子どもたちと似ていることにも反応を示した。

ボルブドゥール遺跡については、子どもたちが修学旅行や社会見学で、国内の世界遺産を見てきたことから紹介した。

町の様子については、クイズ形式で出題した。ポストやコンビニなど日本とよく似たものから、ガソリン

の露店販売やバイク社会、交通事情など日本とのちがいを説明した。

食べ物については、私自身が一番感動した、屋台のミーバソについて紹介した。イスラム教徒は豚肉が食べられないことから、だしは牛肉でとっていることなどを話すと、食べてみたいと言う声が上がった。(後日、調理実習することになった。)

お土産として、スナック菓子を子どもたちに渡し、イスラム教徒の人でも安心して食べられる食品のマーク「ハラルマーク」について紹介し、子どもたちは、そのマークを探しながらスナック菓子を食べていた。後日、教室の後ろに、インドネシアで購入した食品を展示し、ハラルマークを探すコーナーをつくった。



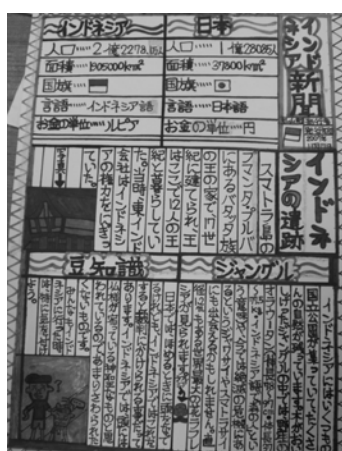
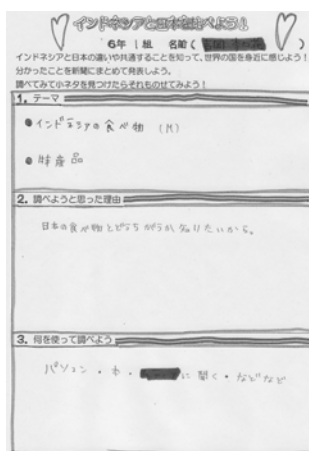
2～6時限目 「インドネシアと日本を比較しよう」

自分たちで調べたいテーマをワークシートに書かせ、インターネットや、本、インドネシアの子どもに聞くなどして、自分たちで調べ学習をすることにした。調べたことは、新聞に日本と比較しながらまとめることにし、比較できないことは、インドネシアの豆知識として載せてみるように指示し、活動を行った。

出来上がった新聞は教室に掲示し、お互いの新聞を見ながら、調べたことを共有することにした。

【新聞を作ってみての子どもたちの感想】

- ・果物の名前など同じではないけれども、似た名前や日本では聞かない名前もありました。でも、食材は日本とほとんど同じだったので驚きました。料理は、見た目はスパイシーってかんで日本と違うかなと思ったけど、作られているものが同じものだったので、味覚は同じなのかなと感じました。
- ・インドネシアと日本の絶滅危機動物を比べて、世界にはこんなに絶滅危機の動物がいるとは知りませんでした。これからはもっと動物を大切にしなければいけないことを忘れず、動物を保護していきたいです。
- ・日本とインドネシアを比べてみると、言葉の違いが一番印象的だったけど、逆に共通点もありました。それは、国旗の色です。両国とも、赤と白を使っています。
- ・インドネシアの食べ物はけっこう日本と似ているなと思いました。でも、日本は手で食べ物を食べることは行儀が悪いことになるので、やっぱり国によって習慣とか違うんだなと思いました。
- ・インドネシアの言葉は、日本では短い発音が長くなっていたりして面白かった。ベチャの車夫は若死にするのになぜベチャが多いのか気になった。
- ・ぼくは、この新聞を書いて、インドネシアでも日本の漫画が読まれていて、ものすごく驚いた。その中には僕の知らない漫画もあって、インドネシアの人と日本の人の好みは少し違うのだと思った。



授業外で「ラマダンの断食」

9月に入って、運動会の練習が始まった時期と平行して、インドネシアの彼女が、ラマダンの断食に入った。朝から、夕方の6時まで水も食事も口にしないというのである。ただでさえ、残暑が厳しいこの時期に、しかも、毎日のように運動会の練習が続くこの時期に水も口にしないということは体調面からも大丈夫なのだろうか。と心配し、お母さんとも相談した。すると、「彼女がやるといっているのです、できるところまでさせてあげたい。」とのことだった。給食も食べられないので、その時間は図書室で一人読書をし、運動会の練習中も水分を取らない。こんな状況をクラスの子どもたちも見ており、改めて、生活習慣、宗教の違いを実感した。それにしても、意志が強いと思った。

7～11時限目 「インドネシアの文化を体験しよう」

～ 楽器編 ～

今年の卒業生が、卒業の記念にアングルンという、竹でできたインドネシアの楽器を学校に寄贈してくれた。イメージとしては、ハンドベルのインドネシア版といった感じである。このアングルンを使って、音楽会では、職員演奏で、キロロの「未来へ」を演奏した。

音楽の先生に協力していただき、6年生の子どもたちも、「世界の音楽めぐり」という音楽の授業の中で、グループに分かれてクリスマスソングをアングルンを使って練習し、発表会を行った。



【アングルンを演奏しての子どもたちの感想】

- ・アングルンって竹を複雑な形に組み合わせた楽器で、横に振るとまるで森の中にいるような感じを響かせることができ、優しい音が出ました。
- ・自然の音がしてすごく面白かった。
- ・竹でできているということもあって、見た目がきれいで音もきれいでした。2つ3つ音が合わさると、とてもきれいでした。
- ・アングルンを振動させると、カラカラと美しい音色がなり、とても面白かった。さらに、この音を他の音と重ね合わせるとさらに美しい音色がなり感動した。その音色を聞くと、自然とその音色にあった情景が浮かんでくるようだった。
- ・竹の柔らかな音が、聞いている人の心を和ませてくれると思いました。
- ・こんないい音がでるんだな～と不思議に感じました。

～ 料理編 ～

インドネシアの女の子のお母さんを講師として迎え、インドネシアの料理作りにチャレンジした。代表的な料理、ナシゴレンと、私がインドネシアではまったミーバソという、牛肉でだしをとったラーメンを作ることになった。まず、お母さんから調理方法や調味料の紹介をしていただき、実際に調理スタート。子どもたちは、インドネシアの料理に、にんにくがたっぷり使われることにびっくりしながらも、香ばしい良いにおいの中、集中して調理に取り組んだ。途中、インドネシアで購入してきた、サンバルソース(辛いソース)やケチャップマニス(甘いソース)をなめながら、インドネシアの雰囲気舌で感じていた。



インドネシアの人は、ナシゴレンやミーバツにサンバルソースやケチャップマニスをトッピングして食べることを聞いた子どもたちは、思い思いにソースをかけ、「からい！」「甘からくって美味しい」といいながら本場の味を楽しんだ。中には、インドネシア語で「おいしい」という意味の言葉「エナ！」と言っている子どもたちもいた。



【料理を作った子どもたちの感想】

- ・ミーバツはにんにくが多かったです。でも、インドネシアならではのスパイスのきいた料理で美味しかったです。インドネシアの料理がこんな味だということが分かり、Mさんのことも前よりよく分かりました。
- ・チャーハンと比べるとナシゴレンは独特の味がした。でも、どちらも美味しいと思った。ミーバツはラーメンとは違ってにんにくの味がすごかった。
- ・ナシゴレンはからくて、ミーバツは甘かった。これを食べて、インドネシアの料理に興味をもった。
- ・ナシゴレンは意外と甘く、日本のチャーハンと全然違いました。ミーバツは、スープが緑で、味がしっかりしていました。
- ・ナシゴレンは味が調整できて、辛いものや甘いものまでできるので感動しました。ミーバツのだしがラーメンと全然違っていました。
- ・インドネシア料理を作ってよかったと思います。ナシゴレンは、インドネシアに行って本場のものを食べてみたいです。
- ・とても簡単にインドネシアの代表的な食べ物ができたのでびっくりしました。すぐ作れてしまうのに味はすごく美味しかったです。おうちでも作りたいです。

3. 成果と課題

クラスの中に、インドネシアの子どもがおり、授業を通してインドネシアのことに興味を持ったり、身近に感じてくれたとは思ふ。そういう意味では、授業をしてみてよかったと思う。しかし、自分が今回インドネシアで見てきたことや感じたことは半分も伝え切れてないような気がする。ストリートチルドレンとの出会い、ジャワ島中部地震で被害にあった人たちの気持ち。家族の温かさ。ぬくもり。こういったことをもっと授業の中に取り入れる工夫をしていかないといけないと思った。インドネシアと日本を比較する場面で、もっとこちらからのアプローチの仕方があったのではないかなと思う。

12月末現在、まだ、12時限目の授業を行っていない状況である。3学期に、もう一度、インドネシアのことを知った上で、さらにどんなことをしてみたいか。どんなことができるのか。つなげていけるように考えていきたい。まずは、興味のあることから取り組み、次に、その内面に迫っていくことで、国際理解が深まっていくのではないかと感じた。